



RENKEI 2017

Digital Cultural Heritage Business and Open Data: Bringing Rome to Japan (2017/6/24-28)

場所：立命館大学 衣笠キャンパス

参加者：牧野嶋（D2）

当研究室の牧野嶋（D2）が東北大学代表として選抜され、京都立命館大学で行われたRENKEIワークショップに参加しました。今回のテーマは、「Digital Cultural Heritage Business and Open Data: Bringing Rome to Japan」であり、Cultural heritage や Open Data に関連する研究、ビジネスに取り組んでいる研究者・実務者が、大学、博物館、企業といった様々な所属から集まりました。

発表では、牧野嶋が博士研究で取り組んでいる津波避難に関する研究やビジュアライゼーションに加え、東北大学災害科学国際研究所が取り組んでいる様々な災害アーカイブ活動などを紹介しました。多くの参加者が考古学などを研究している中、異色の発表でしたが、ご質問を頂いたほか、発表内容がツイートされるなど、大変興味を持って頂けました。その他、グループワークやディスカッションを通じて、新しい知見を獲得することができ、大変有意義なワークショップとなりました。



研究発表のようす



フィールドトリップの一場面(京町家の保存とVR)



グループワークの様子



RENKEI2017 参加証

(文責：牧野嶋)